

セミナー参加報告書

令和 7 年 11 月 13 日

貝塚市議会議長 阪口 芳弘 様

市民ネット貝塚
阪 口 勇
川岸 貞利



【開催日】 令和 7 年 11 月 10 日・11 日

【会場】 東京 リファレンス西新宿大京ビル 2 階・5 階

【内容】 1 日目 財源をつくり、破綻を防ぐ！地方財政セミナー

- 「財源をつくる！地方議員のための歳入増加実践策」
- 「夕張に学ぶ財政再建－持続可能な歳出削減策」

2 日目 質問で成果をつかむ集中講座

- 「絶対的質問力」

【講師】 元京都市議会議員 村山 祥栄 氏

11月10日(1日目) 財源をつくり、破綻を防ぐ！地方財政セミナー

- 「財源をつくる！地方議員のための歳入増加実践策」 10：00～12：30
- 「夕張に学ぶ財政再建－持続可能な歳出削減策」 13：30～16：00

新型コロナウイルスで見えた自治体財政の現状

- 1、新型コロナウイルス対策費として地方交付税の減
- 2、金利上昇による利払い増
- 3、物価高騰による経費増
- 4、景気減衰による税収減リスク
- 5、社会福祉費 少子高齢化（2042年まで耐えられるか）
- 6、維持改修の隠れ負債（インフラの老朽化）
- 7、子育て支援策等の投資的経費増

財政調整基金の取り崩し問題

多くの自治体がコロナ禍で財政調整基金を使って市民に現金給付などを行った。全国の自治体で取り崩された財政調整基金の金額は1兆円を超える。

そもそも財政調整基金とは、通常の財政運営で使う基金でなく、災害が起こるなど予定していない緊急事態のときに使える財源を確保するためのもの。

それでは、幾ら積み立てが必要なのか？決められたものはないが、標準財政規模の5%～10%ぐらい？ 財政調整基金が乏しいと財政は「弾力性のない財政運営へ」

決算黒字に意味はない、基金取り崩しや借金などで穴埋めして黒字化できる。
問題は決算の中身。綱渡りしだしたら終わり。

自治体財政圧迫の主要因

◇財政運営に問題があるケース

○財政調整基金の取り崩し問題（使う内容がポイント）

○減債基金（公債償還基金）の取り崩し問題

満期一括返済するための基金で、絶対やってはいけない財務手法

○行政改革推進債の活用問題（これをすれば最悪）

◇社会保障費の増大

行政改革はやり続けないといけない

社会保障費は増加し続ける。増加スピード以上の改革をやらなければならない

「決算とはなんぞや」

予算審議で質問した項目の反映状況の確認から、議会全体としての課題まで振り返りが重要。

決算審査の目的は翌年度予算に反映させること。

※決算活用事例をいくつか紹介していただきました。

「財政再建の道（歳入編）」

①ふるさと納税

ポイント①返礼品の点数を多く

②出したいものより、欲しい物を。消費者目線でラインナップ

③家庭内消費が強いため訳アリ人気

④還元率の高さ

⑤ファンづくりと一緒にされたし

⑥コト消費 体験型

⑦トキ消費 イベント参加型

⑧SDGs の看板を付ける

⑨応援商品

⑩ふるさと納税支援補助金

補助金対象事業者募集

旅先でふるさと納税　自動販売機　旅先納税　スマホで
ふるさと納税の留意点　（自市の流失額を把握していますか？）

ふるさと納税への考え方

- ①継続事業に使わない
- ②経常的な事業に使わない
- ③寄附者の共感を得られる事業を

突然なくなっても支障がないか考える。基本積み立てを

企業版ふるさと納税

地元以外の自治体に寄附したら9割の節税

1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減
成功する9つの秘訣

- トップセールス
- 企業周りの人材
- 地域の繋がりを使う
- 地域のムードを盛り上げる
- ポータルサイトに頼らない
- パンフレットをしっかりつくる
- ハレの場を設ける
- 企業と長い繋がりにしていく

②民間活用維持管理手法

ネーミングライツで維持管理を公衆トイレ　児童公園

広告収入　意外とニーズはある。逆プロポーザル　企業が自治体を募集も

③保有財産の有効活用

売却、貸出、活用を早くする
貸し出し資産、借りている資産を点検

④基金の活用　使い道を無くした基金もあるはず

⑤すぐできる超過課税「悪魔の鍊金術」

法定外新税　法定税以外で、条例で自治体に設定する地方税（総務大臣の同意がいる）
宿泊税を取る　段階制にすべき（財源は観光につかう）

【感想】

歳入増加策の手法をいろいろ学べた。市の財政運営をしっかりチェックできる目を持つためにしっかり勉強することが必要だ。また、歳入増加については、ちりも積もれば山となる精神で積極的に前向きに提案していくことが大切だと感じました。

昼からの講演は、財政再建の道（歳出編）

法定税が増収になると地方交付税が減額される。例えば法定税が 100 増えると交付税は 75 減らされ、差し引き 25 しか増えない。歳出は減らした分だけ楽になる。故に財政再建は歳出ベースでやるべし

行政改革総論 1 予算編成を見直せ

- 財政の運用ルールの厳格化
- 財政調整基金を基準まで貯めること
- 臨時財性対策債を含めた債務の圧縮を着実に遂行する
- 目的外の基金の取り崩しを禁止すること
- 原則的に不用意な債務は認めない事

行政改革総論 2 選択と集中

明石市独自の 5 つの無料化、反面、土木費などをカット
「あれもこれも」から「あれかこれか」の時代 元三重県知事 北川正恭 氏

【無駄使いのチェック】

啓蒙啓発系は無駄の温床（中身を精査すると問題だらけ）

歳出見直し 生活保護費対策

現物支給単価のチェックを 自治体で一括購入で安く
生活保護の一歩手前で生活再建を！

滋賀県野洲市の取組 滞納している市民に寄り添って生活再建に力を入れている。

【金を借りてモノを作る時代は終わった】

P P P 官民連携

いろんな事例紹介

P F I コンセッション

公共施設等運営権を委託、売却

施設借り上げ方式 撤退しやすい

施設包括管理

民間連携の秘訣 P F S (PAY FOR SUCCESS) 成果連動型民間委託契約方式

自治体が事業の成果指標を設定し、その改善度合いに応じて委託料を支払う民間委託の契約形態

【感想】

市財政のチェックをしっかり行い、現状の把握と市の財政運営について熟知することが必要である。今後ますます厳しくなる事を踏まえ、財政出動の要望だけを行うのではなく、未来に責任を持ち、持続可能な財務体質を構築するための、無駄のチェックと効率的な財政運営を行うよう進言していくことが重要だと感じました。

11月11日(2日目) 質問で成果をつかむ集中講座

○「絶対的質問力」 10:00~12:30

議会質問をはじめ議会ルールは、議会ごとに違う！ ルールは変えられる。

◇質問の作り1 フィールドを選ぶ

代表質問・一般質問のポイント

○問題提起型 市民・議員・当局へ周知したい内容の質問

○当局を大きく揺さぶりたい質問

委員会質問のポイント

○身近な課題、緊急性の高い質疑

◇質問の作り2

「みんなの不満を形にせよ」

問題(課題)はわかっているが、解決策が全くわかっていないことが多い

町の適正人口は何人か考えているか？

現状維持と答える人が多いが、本来適正人口を誰も考えていない。

理想と現実の差異

○選挙啓蒙は全くナンセンス

本当に予算つけて行っても問題解決にならない、無駄

一部の人の不満を形にしていいか?!

みんなの不満とは、、、

今市民は、何を求めているか？

全体市民の不満に寄り添う

トレンドを掴め！（今ならクマ対策）

したい質問より、聞きたい質問を！

トレンドを掴んだ質問は、結果が付いてくる。トレンドの時流を掴んで質問する。

防災の質問は、9月は集中豪雨、台風などこの時期に多く関心が集まる

イメージと現実の差を埋める！

議員の仕事は「真実から目をそらすな！常識を疑え！裏を読め！」

正義はいっぱいあるが、真実は1つ

少子化の真実は 自然減は基本的に止まらない

不变の真実 豊かになると人は出産を抑制する。

人口置き換え水準(人口を維持できる水準)は、2.1 現在世界の出生率は、2.6

出生率が人口置き換え水準まで下がった国でそれを押し戻した国は皆無。

労働者不足が地方を滅ぼす

対策 ○労働者を増やす シニア、女性、外国人、障害者

- 機械化・自動化
- ワーキングシリアクト 副業、地域活動
- シニアの仕事づくり
- 無駄改革
- 人材の囲い込み

課題発見力と調査遂行力

◇質問の作り 3

常日頃から考える、ネタをストック
成功事例やいい事例をパクれ！ D-file (イマジン出版) アンテナを高く持つ
陳情 市民との対話 現場での気づき
行政マンとの対話

市民からの陳情から、市営住宅の多くの問題点が見いだせ質問した事例など紹介があった。

質問の本当の意味をしっかり持って、伝えることが大切

公営住宅入居保証人廃止を！

「公園のトイレなぜ汚い？」から提案した事例も興味深かった。

議案から以下の観点をもって向き合い質疑を行うべき

- 政策意図はその施策で本当に果たせるのか？
- 費用対効果は見込めるのか？
- 費用の妥当性はあるか？
- 施策の欠点(公平性、しわ寄せなど)
- 実行プロセスは妥当かどうか？

【感想】

陳情型の質問も必要とは考えるが、しっかり市政の現状を調査して把握し、おかしなことや無駄なことがないか、市全体の市民がうなずく課題に対しての質問などを行うことが重要であることがよくわかった。そのためには準備は入念に時間をかけて、事前調査も行うことがいかに必要かを学びました。

また、質問をしてしっぱなしするのではなく、一度きりで終わらせず何回も検討内容など問い合わせ質問を行うことが重要だと感じました。